

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		ごみ減量推進事業費 [ごみ減量推進事業]										
予算科目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費	事業番号	3	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策） 課					ごみ減量 係		課長名	梶川 義夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 7			
【施策名】 ごみの減量とリサイクルの推進								総合計画書 (ページ)	97			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	ごみや資源物を排出する市民					人口（10月1日現在）						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
2 指標の推移	①ごみの減量					①市民1人1日当たりの排出量						
	②リサイクルの推進					→ (総排出量/人口/年間日数×1,000,000)						
						②リサイクル率						
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
3 経費	ごみや資源物の再資源化					資源化総量						
	→											
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,277	85,305	85,335						
	成果指標	②の数値	①g ②%	①674.3 ②35.5	①692.1 ②37.3	①660.8 ②36.6						
	目 標	②の目標値	g	650	650	650						
	目標値設定の考え方 東大和市一般廃棄物処理基本計画による											
	活動指標	③の数値	トン	7,480	8,044	7,537						
	事業費（実績）		円	28,171,031	26,081,357	46,511,127	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）					
	財源	一般財源	円	20,174,187	23,061,471	35,627,919						
		特定財源（国・都・他）	円	7,996,844	3,019,886	10,883,208						
（うち受益者負担）		円	7,996,844	3,019,886	10,883,208							
人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	5.0	4.0	4.0							
	所要人数(再任用)	人										
	職員人件費(再任用以外)	円	41,550,000	33,520,000	33,000,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	69,721,031	59,601,357	79,511,127							
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和29 年度									
	(2) 環境の変化											
	平成26年 8月：収集体制の変更・一部戸別回収の実施											
	平成26年10月：家庭廃棄物の有料化を導入											
平成31年 4月：小平・村山・大和衛生組合 資源物中間処理施設が稼働開始した。												
平成31年 10月：食品ロスの削減の推進に関する法律が施行された。												

事業名称	ごみ減量推進事業費 [ごみ減量推進事業]			
担当部署・課長名	環境対策（ごみ対策）	課	ごみ減量	係 課長名 梶川 義夫

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

平成26年8月1日から実施した戸別収集については、可燃ごみ・不燃ごみ・容器包装プラスチックとなっており、資源物はステーション式であることから、資源物の戸別収集が望まれている。また、排出が困難な高齢者等からの要望もある。

廃棄物の排出抑制と資源物のリサイクルのため、ペットボトル自動回収機によるペットボトル回収事業や使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収事業、使用済みプラスチック容器回収事業、リユース活動の促進事業等に取り組み、市民から高い評価を得ている。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☒ 取り組んだ
☐ 取り組まない

取組手法：③④⑤⑥
【取組手法の種類】
①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

民間事業者と連携した新たな減量施策の実施

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。

○ユニリーバ・ジャパン・サービス(株)及び花王(株)との協働による、シャンプーボトル等の使用済みプラスチック容器回収事業の実施
○(株)セブン-イレブンジャパン及びコカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)との協働による、ペットボトル自動回収機を活用したペットボトル回収事業の継続、拡充
○ライオン(株)が実施し、市立第二中学校が参加するハブラシ回収プログラムへの協力の継続
○(株)ジモティーとの協定に基づく、リユース活動の推進事業の継続
○HOYA(株)アイケアカンパニーとの協働による、使い捨てコンタクトレンズ空ケースリサイクル事業の継続

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

民間事業者との連携によるさらなる減量施策の実施

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： ごみの減量とリサイクルの推進

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

更なるごみ減量施策の推進。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

・民間事業者が行っているリサイクル事業の把握と、その事業について市と連携し、または市が導入できるかの検討。